

平成12年度 RASC 電波科学計算機実験シンポジウム・プログラム

平成13年3月8日、9日
京都大学 宙空電波科学研究センター・1階会議室

主催: 京都大学宙空電波科学研究センター
電波科学計算機実験専門委員会

3月8日

[座長: 笠原 禎也(京大・情報)]

10:30 大振幅マイクロ波と電離層プラズマとの非線形相互作用に関する研究

臼井 英之、松本 紘、Roger Gendrin(京大・超高層)

10:50 LF-bursts observed by multiple satellites

橋本 弘藏、松本 紘(京大・超高層)、
R. R. Anderson(U. Iowa)、J. -L. Burgeret(Observatoire de Paris)、
M. L. Kaiser(NASA/GSFC)

11:10 Characteristics of Field-aligned Currents Comparison between DE data and Numerical Simulation

山本 隆(東大・理)、井上 祥史(岩手大・教育)

11:30 Distortion of Plasma Distribution Predicted from Tsygonenko Model

山本 隆(東大・理)、井上 祥史(岩手大・教育)

11:50-13:00 (昼食)

[座長: 上田 裕子(千葉大・工)]

13:00 カスプ領域におけるイオン加速・加熱機構の研究

上田義勝、小嶋浩嗣、橋本弘藏、松本紘、壁内幹人、岩井宏徳、藤原亮介(京大・超高層)
長野勇、高野博史(金沢大・工)、岡田敏美(富山県立大・工)
笠原禎也(京大・情報学)、向井利典(宇宙研)

13:20 ロケットプルームによるテレメータ・ロックオフ現象の数値解析

舟木 一幸(宇宙研)

13:40 電磁波粒子コードを用いたマグネトロンに関する計算機実験

沖田 英樹、藤枝 正徹、篠原 真毅、松本 紘、臼井 英之(京大・超高層)

14:00 サブグリッド法を導入した電磁粒子コードの開発

宮田 克也、臼井 英之、松本 紘(京大・超高層)

14:20 高速弱電離プラズマ中における3次元MHD相互作用による渦状2次流れの誘起に関する基礎的検討

美船 健、松尾 哲司(京大・工)、乾 義尚(豊橋技大)、石川 本雄(筑波大)

14:40-14:50 (休憩)

[座長: 堀之内 武(京大・超高層)]

14:50 中緯度電離圏E領域のプラズマ挙動に関する計算機シミュレーションの構築

山本 衛、横山 竜宏、深尾 昌一郎(京大・超高層)

15:10 熱帯域上部対流圏における擾乱の鉛直構造について

西 憲敬(京大・理)

15:30 鉛直高解像度中層大気大循環モデル(序報)

吉川 実、宮原 三郎、三好 勉信(九大・理)

15:50 熱帯海洋上のメソ対流系組織化における対流圏上層束風の影響

重 尚一、里村 雅彦(京大・理)

16:10-16:20 (休憩)

[座長: 三宅 壮聡(京大・超高層)]

16:20 Simulation study on wave number dependence of enhanced ion acoustic echoes observed by EISCAT radar

上田 裕子(千葉大・工)

M. T. Rietveld (MPAE, EISCAT)、K. Schlegel (MPAE)

16:40 地球磁気圏尾部における低域混成周波数帯静電波動の研究

新 浩一、橋本 弘藏(京大・超高層)

17:00 エネルギー関数を用いた波動分布関数法による伝搬ベクトル推定手法に関する研究

後藤 由貴、笠原 禎也、佐藤 亨(京大・情報)

17:20 開放系プラズマモデルにおける電子ビーム不安定性の研究

梅田 隆行、大村 善治(京大・超高層)

17:40-17:50 (休憩)

[座長: 新 浩一(京大・超高層)]

17:50 モンテカルロ法によるプラズマ-中性粒子衝突を考慮した計算機実験

安木 慎、臼井 英之、松本 紘(京大・超高層)

18:10 2D ハイブリッドコードの並列化とリコネクション計算機実験

村田 健史、岡島 利仁(愛媛大学工学部)、大村 善治、松本 紘(京大・超高層)

18:30 Electrostatic particle simulations of solitary waves in the auroral region

三宅 壮聡、大村 善治、松本 紘(京大・超高層)

-----	19:00 懇親会	-----
-------	------------------	-------

3月23日

[座長: 杉山 徹(東工大・理工)]

9:15 磁気圏尾部の磁力線再結合: イオンダイナミクスと3次元電流系

中村 雅夫(京大・超高層)

9:35 MHD シミュレーションを用いた宇宙天気研究へのチャレンジ

荻野 竜樹(名大・STE 研)

9:55 磁気圏界面のK-H不安定における緩和現象

三浦 彰(東大・理)

10:15 MHDシミュレーションにおける衝撃波の可視化法

海稻 輝知、山下 善経、張替 豊旗、清水 徹、鶴飼 正行(愛媛大・工)

10:35~10:45 (休憩)

[座長: 笠羽 康正(宇宙研)]

10:45 高速磁気再結合過程における超音速加速機構---非対称な反平行磁場の場合---

清水 徹、鶴飼 正行(愛媛大・工)

11:05 惑星電磁圏における粒子加速

町田 忍、矢島 彰、寺田 直樹(京大・理)

11:25 磁気圏尾部における粒子加速の研究

大村 善治、山本 輝哉(京大・超高層)

11:45 コーラスエミッション発生・伝搬に関する波動・粒子データ解析

八木谷 聡、臼井 務、長野 勇(金沢大・工)、
松本 紘(京大・超高層)、向井 利典(宇宙研)

12:05~13:00(昼食)

[座長: 山本 衛(京大・超高層)]

13:00 下部成層圏における波動による物質輸送

堀之内 武(京大・超高層)

13:20 中層大気循環の季節内変動・年々変動に関する数値実験

田口 正和、余田 成男(京大・理)

13:40 化学中層大気大循環モデルの開発と数値実験

渡辺 真吾、廣岡 俊彦(九大・理)

14:00 西太平洋赤道域における大気境界層の日変化

竹見 哲也(大阪大・工)

14:20～14:30 (休憩)

[座長: 中村 雅夫(京大・超高層)]

14:30 MHD波動による荷電粒子の拡散過程

羽田 亨、蔵満 康浩、大塚 史子(九州大・総理工)

14:50 Electrostatic and Electromagnetic 2fp waves in 1D and 2D EM-particle simulations

笠羽 康正(宇宙研)

15:10 地球磁気圏バウショック周辺における波動一粒子相互作用に関する電磁粒子シミュレーション

中尾 健司、松本 紘、小嶋 浩嗣(京大・超高層)

15:30 Test粒子法とHybrid法で探る大振幅波動による準平行衝撃波での加速現象

杉山 徹、藤本 正樹(東工大・理工)

15:50 磁気圏バウショックにおけるプラズマ波動解析

Petr Hellinger、松本 紘(京大・超高層)

◎ AKDK を用いた共同利用について

◎ 総合討論

- 講演は、発表 15 分、質問・議論は、5 分です。

会場では、OHPを用意しております。PC (PowerPointなど)+液晶プロジェクターの利用もできます。その他、ビデオ、スライド等必要な場合は、予め、こちらまでご連絡頂きますようお願い申し上げます。

対流圏一成層圏結合系の内部変動に関する数値実験

田口正和、余田成男(京大理学部)

MRI-NHMを用いた温暖前線に先行する降水帯の再現実験

手柴 充博、橋口 浩之、深尾 昌一郎(京大RASC)

柴垣 佳明(大阪電通大)、加藤 輝之(気象研)

Numerical simulations of an ensemble of an ensemble of mesoscale convective systems during TOGA COARE

重 尚一・里村 雄彦(京大理学部)

Wei-Kuo Tao・Daniel E. Johnson (NASA/GSFC)

熱帯対流圏上部でみられる鉛直微細構造について

西 憲敬 (京都大・理学研究科)

3次元化学輸送モデルを用いた対流圏硫黄循環の研究

新添 多聞、木田 秀次 (京大院・理)

赤道域積雲滞留起源大気動波の3次元数値実験

小坂 純一・堀之内 武 (京大RASC)

金星非磁気化電離圏と太陽風の相互作用のグローバルハイブリッドシミュレーション:
太陽風イオンの電離圏への降り込み

寺田 直樹、町田 忍(京大理)、品川 裕之(STEL)

Real-time calculations of the geophysical boundary locations,
based upon empirical models and solar wind observations

S M Petrinec, STEL, Nagoya University

Global MHD simulation for the magnetospheric event on October, 1999

朴京善, 荻野竜樹(名大STE研)

多段階のテアリング不安定による速い磁気リコネクションのMHD数値シミュレーション

田沼俊一(名大STE研)、横山央明(国立天文台野辺山電波観測所)

工藤哲洋(国立天文台)、柴田一成(京都大学花山天文台)

地球磁気圏のMHDシミュレーションと3次元可視化

荻野竜樹(名大STE研)

磁気再結合におけるシアフローの影響:フローの与え方による違い

近藤光志、鶴飼正行、坂本義範 (愛媛大工)

AVSによるオーロラおよびAKR観測の3次元可視化

村田健史、Nurdiyana binti Abdul Gahni(愛媛大工)

橋本弘蔵、松本紘(京大RASC)

W. Kurth、L.A.Frank(U of Iowa)

KH不安定性の粘性に対する依存性:非線形性と粘性散逸の競合過程

三浦彰(東大理)

Criticality and topology of magnetic field at magnetotail

蔡 東生(筑波大電子情報)

磁気リコネクションジェット先端領域の3次元不安定性

中村 雅夫(京大RASC)

Criticality in magnetotail reconnection using 3-D Global EM particle Simulation code

顔 小洋(筑波大システム情報工学)

高速磁気再結合過程における超音速膨張加速機構の発生条件

清水 徹、鵜飼 正行(愛媛大工)

高速磁気再結合過程において発生するプラズモイド周辺のMHD波動構造

張替 豊旗、尾崎 慎一郎、清水 徹(愛媛大工)

開放系における電子ビーム不安定性の計算機実験

大村善治、梅田隆行 (京大RASC)

Electron foreshockに関連する電子／波動現象:現状と展望

笠羽 康正(宇宙研)

衝撃波によるイオンの加速

杉山 徹(東工大)

準平行衝撃波におけるプラズマ加熱に関する粒子シミュレーション研究

西村香純、松本紘、小嶋浩嗣 (京大RASC)

地球磁気圏バウショック周辺における波動励起現象に関する計算機シミュレーション

岩田 元希、松本 紘(京大RASC)

電子二流体不安定性の非線形発展におけるポテンシャル空間構造への電子温度の影響

三宅 壮聡(富山県立大)

大村 善治、松本 紘(京大RASC)、岡田 敏美(富山県立大)

イオンスラスタ搭載機周辺のプラズマ環境

趙 孟佑(九州工大)

プラズマ中和器を用いた宇宙機の帯電緩和に関する計算機実験

安木 慎、臼井 英之、松本紘、大村善治(京大RASC)

宇宙プラズマ中でのアンテナ特性に関する計算機実験

山本 敦士、臼井 英之、小嶋 浩嗣、松本紘、大村善治(京大RASC)

マグネトロン中の電子-電磁界共鳴現象に関する計算機実験

沖田 英樹、臼井 英之、篠原 真毅、松本 紘(京大RASC)

500MW出力MHD発電機内強MHD相互作用の予備的検討

石川本雄(筑波大)

Electrostatic Particle Simulations of the WDL in the Auroral Plasma

Including the Effects of Up-flowing Ions

A. Yajima and S. Machida (Dept. of Geophysics, Kyoto Univ.)

電磁流体シミュレーション可視化ツールの開発

木津由也、近藤光志、鵜飼正行 (愛媛大工)

MPIを用いたKEMPOコードおよびハイブリッドコードの並列化手法

上岡 功治、村田 健史(愛媛大)

上田 裕子(千葉大)、岡田 雅樹(極地研)

臼井 英之、大村 善治、松本 紘(京大RASC)

ハイブリッド電磁界解析ソルバのオブジェクト指向設計と開発

上田(千葉大)、中田(千葉大)

村田(愛媛大)、臼井(京大RASC)、岡田(極地研)

KEMPOのWebインターフェイスの開発

重畠久人、臼井英之、松本紘、大村善治(京大RASC)

地中における電磁波の検出

筒井 稔、(京都産業大学 計算機科学研究所)

北極ロケット実験におけるプラズマ波動観測

上田義勝、小嶋浩嗣、松本紘(京大RASC)

惑星地下構造探査用衛星搭載レーダーに関する計算機シミュレーション

植木 辰典、小嶋 浩嗣、松本 紘(京大RASC)

GEOTAIL衛星で観測されたマグネトシースおよびバウショック領域のプラズマ波動

新 浩一 松本 紘 小嶋 浩嗣 (京大RASC)

Propagation Characteristics of Lobe Trapped Continuum Radiation in the Distant Magnetotail

高野 博史、長野 勇、八木谷 聡、福岡 将(金沢大工)

松本 紘(京大RASC)

CRRES衛星で観測された赤道域でのKilometric Continuum

橋本弘藏(京大RASC), R. R. Anderson(U.of Iowa),

松本紘(京大RASC), and W. Calvert